



## 2021年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年2月12日

上場会社名 東和ハイシステム株式会社  
 コード番号 4172 URL <https://www.towa-hi-sys.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 石井 滋久

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長兼CFO (氏名) 山崎 武恆

TEL 086 - 243 - 3003

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第1四半期の業績(2020年10月1日～2020年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	520		130		95		64	
2020年9月期第1四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	32.38	
2020年9月期第1四半期		

(注)2020年9月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2020年9月期第1四半期の数値及び2021年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	
2021年9月期第1四半期	3,448		3,064		88.9	
2020年9月期	3,084		2,645		85.8	

(参考)自己資本 2021年9月期第1四半期 3,064百万円 2020年9月期 2,645百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		35.00	35.00
2021年9月期					
2021年9月期(予想)		0.00		55.00	55.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,010		198		199		139		64.20
通期	2,147	12.4	414	7.8	416	4.7	266	8.7	125.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期1Q	2,168,000 株	2020年9月期	1,968,000 株
期末自己株式数	2021年9月期1Q	株	2020年9月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期1Q	1,985,391 株	2020年9月期1Q	1,968,000 株

当社は、2020年7月31日付で普通株式1株につき24株の割合で株式分割を行っておりますが、2020年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数及び期中平均株式数を記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的状況(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国内外の経済活動の停滞や縮小により、景気は急速に悪化しました。2020年4月に発出された緊急事態宣言解除後は国内の経済活動の一部に回復の兆しがありましたが、第3波の感染拡大に歯止めがかからず、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

歯科医療業界におきましては、歯科医院による診療時間帯・診療スタッフの員数・診療方法などの見直しに伴うIT機器の活用が広まりつつあり、いわゆる「ウィズ新型コロナウイルス感染症」の時代に合わせた運営方法が確立しつつあります。また、厚生労働省が推進する「オンライン資格確認等システム」事業も後押しとなり、歯科医療業界にIT化の進展に係る機運が高まっております。

そのような中、当社は事業理念に沿った対面型の営業サポートを継続しつつ、診療報酬の改正情報や「オンライン資格確認等システム」の情報提供、来患分析ソフトや全自動精算機等の提案活動に取り組んで参りました。

これら一連の活動を、主力商品である電子カルテ統合システム「Hi Dental Spirit XR-10i」販売へと繋げてまいりました結果、当第1四半期累計期間の売上高は520百万円、営業利益は130百万円、経常利益は95百万円、四半期純利益は64百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は3,448百万円となり、前事業年度末と比較して363百万円増加いたしました。

##### a. 流動資産

流動資産は2,576百万円となり、前事業年度末より376百万円増加いたしました。主な内訳は、公募増資を主要因とする現金及び預金の増加377百万円と、売掛金の減少12百万円であります。

##### b. 固定資産

固定資産は871百万円となり、前事業年度末より13百万円減少いたしました。主な内訳は、減価償却を主要因とする有形固定資産の減少5百万円、ソフトウェアの開発等に伴うソフトウェア仮勘定の増加9百万円、繰延税金資産の減少16百万円等であります。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債は383百万円となり、前事業年度末と比較して55百万円減少いたしました。

##### a. 流動負債

流動負債は342百万円となり、前事業年度末より55百万円減少いたしました。主な内訳は、仕入増加に伴い買掛金が30百万円、預り金が37百万円増加した一方で、未払法人税等が73百万円、未払金が27百万円減少したことによるものであります。

##### b. 固定負債

固定負債は40百万円となり、前事業年度末に比べて大きな増減はありませんでした。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は3,064百万円となり、前事業年度末と比較して418百万円増加いたしました。これは、公募増資の実施に伴い資本金及び資本準備金がそれぞれ211百万円増加したこと、四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が4百万円減少したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の業績予想につきましては、2020年12月25日に「東京証券取引所JASDAQへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本国内においては2度目の緊急事態宣言が発出され、当該感染症の収束の不透明化が増大する中、これに伴う市場マインドの変化や対面による商談の自粛等が予想されます。

これに対して当社は、顧客が真に求めるサービスの提供やオンラインの活用等を取組むことで対応を図る所存です。具体的には、クラウド基盤を活用した商品サービスを開発し提供するとともに、顧客と非対面でもサポートできるようリモート配信機能の開発及びオンラインを活用した商談に取り組んでまいります。

現状、当社が展開する事業領域において今回の感染症拡大による重大な影響は観測されていないことから通期業績予想には織り込んでおりません。ただし、今後の経過によっては当社の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があることから、引き続き状況の変化を注視してまいります。また、今後開示すべき事象が発生した場合、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,041,666	2,419,260
売掛金	69,830	57,704
商品	58,018	66,935
前払費用	24,262	30,683
未収入金	4,077	1,846
その他	1,974	289
流動資産合計	2,199,831	2,576,721
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	369,868	365,424
構築物（純額）	2,447	2,388
車両運搬具（純額）	5,515	4,911
工具、器具及び備品（純額）	20,149	19,766
土地	349,929	349,929
有形固定資産合計	747,910	742,421
無形固定資産		
ソフトウェア	4,548	3,790
ソフトウェア仮勘定	12,931	22,013
その他	2,333	2,306
無形固定資産合計	19,813	28,110
投資その他の資産		
投資有価証券	49,580	50,000
敷金及び保証金	31,721	32,061
繰延税金資産	33,764	16,836
その他	1,980	2,078
投資その他の資産合計	117,047	100,975
固定資産合計	884,771	871,507
資産合計	3,084,602	3,448,229

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	64,584	95,217
未払金	171,784	144,507
未払法人税等	91,142	17,697
未払消費税等	40,231	30,234
預り金	5,478	42,655
賞与引当金	9,634	—
その他	15,690	12,385
流動負債合計	398,545	342,699
固定負債		
退職給付引当金	40,154	40,736
固定負債合計	40,154	40,736
負債合計	438,699	383,435
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	68,000	279,600
資本剰余金	22,400	234,000
利益剰余金	2,555,794	2,551,194
株主資本合計	2,646,194	3,064,794
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△292	—
評価・換算差額等合計	△292	—
純資産合計	2,645,902	3,064,794
負債純資産合計	3,084,602	3,448,229

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	520,628
売上原価	122,208
売上総利益	398,420
販売費及び一般管理費	268,045
営業利益	130,375
営業外収益	
受取利息	60
受取手数料	277
その他	7
営業外収益合計	345
営業外費用	
株式交付費	7,837
株式公開費用	27,183
営業外費用合計	35,021
経常利益	95,699
税引前四半期純利益	95,699
法人税、住民税及び事業税	14,618
法人税等調整額	16,800
法人税等合計	31,419
四半期純利益	64,279



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年12月25日に東京証券取引所 J A S D A Q (スタンダード) に上場いたしました。上場にあたり、2020年12月24日を払込期日とする公募増資による新株式200,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ211,600千円増加しております。この結果、当第1四半期会計期間末において資本金が279,600千円、資本準備金が234,000千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

(第三者割当増資による新株式の発行)

当社は2020年11月20日及び2020年12月7日開催の取締役会において、野村証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当による募集株式の発行を決議し、2021年1月25日に払込が完了いたしました。この結果、資本金は343,080円、発行済株式総数は2,228,000株となっております。

(1) 募集株式の数	当社普通株式	60,000株
(2) 割当価格	1株につき	2,116円
(3) 割当価格の総額		126,960千円
(4) 増加した資本金及び 資本準備金に関する事項	増加した資本金の額	63,480千円
	増加した資本準備金の額	63,480千円
(5) 割当先	野村証券株式会社	
(6) 払込期日	2021年1月25日(月曜日)	
(7) 資金の用途	設備資金として商品開発投資と社内デジタル化推進に、運転資金として既存商品・サービスの機能向上推進にそれぞれ充当する予定であります。	